

高等部 重複障がい学級 家庭科 学習指導案

日 時：令和7年10月22日（水）2校時

場 所：家庭科室

授業者：T1 渡邊千恵 T2 深瀬真智

T3 渡邊一誠

1 単元名「私たちの衣生活」

2 目標

- ・衣服の手入れについて理解し、実践することができる。（知識及び技能）
- ・衣服の手入れについて考えたり、工夫したりすることができる。（思考力、判断力、表現力等）
- ・衣服の手入れに関心を持ち、課題に取り組もうとする。（学びに向かう力、人間性等）

特別支援学校学習指導要領 各教科編 (d)

職業・家庭（家庭分野）中学部 2段階 B 衣食住の生活 エ 衣服の着用と手入れ

(ア) 日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践すること。

(イ) 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫すること。

特別支援学校学習指導要領 知的障害者教科等編 (a, b, c, e)

家庭 高等部 2段階 B 衣食住の生活 ウ 衣服の手入れ

(ア) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。

(イ) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫すること。

3 個別の単元目標

生徒	個別の単元目標
a	・衣服の種類や状態に応じた手入れについて理解し、適切に行うことができる。（知識及び技能）
b	・衣服の種類や状態に応じた手入れについて考え、工夫することができる。（思考力、判断力、表現力等）
c	
e	・衣服の手入れに関心を持ち、課題に取り組もうとする。（学びに向かう力、人間性等）
d	・日常着の手入れについて理解し、実践する事ができる。（知識及び技能） ・日常着の手入れについて考え、工夫することができる。（思考力、判断力、表現力等） ・日常着の手入れに関心を持ち、課題に取り組もうとする。（学びに向かう力、人間性等）

4 単元にかかわる生徒の実態

本単元は、高等部重複障がい学級で、教育課程 A 生徒は1年生女子1名、2年生男子3名、3年生男子1名の合計5名で学習する。反抗挑発症や反応性愛着障害、自閉スペクトラム症、適応障害、高次脳

機能障害など、障がいは様々であるが、皆知的障がいがある。

これまでの家庭科では、布を用いた製作や清掃などを行ってきたが、意欲的な生徒もいれば、興味関心が薄い生徒もいる。衣類の手入れについてアンケートを実施したところ、洗濯をしたことがある、洗濯機を使用したことがある生徒は、どちらも1名のみだった。しかし、洗濯したことがない生徒の中にも、「自宅の洗濯機は縦型だ」「使用している洗剤は〇〇（商品名）だ」など、知っていることを発言する生徒はいる。このことから、衣類の手入れに関する経験は少ないが、自分の生活に直結していて、見たことがある事柄に関しては、知識や関心はあるようである。

5 単元について

本単元は、特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年）の家庭にある「衣食住の生活」より「ウ衣類の手入れ」である。

学習空白がある生徒や、経験の少ない生徒がいることから、特別支援学校中学部学習指導要領の家庭にある「衣類の着用と手入れ」の内容を入れ、確認しながら学習を行う。

よって、衣服の役割や適切な衣類の選択、洗濯機や洗剤の使用法、洗濯表示、手洗いの方法等について学習する。

本単元を通して、衣服の手入れ方法についての正しい知識を理解させ、実生活でも活用できる力を養いたい。

6 指導について

導入では、興味関心を持つことができるように、自分の家庭で使用している洗濯洗剤の種類や、洗濯機等、生活に直結したものから話を展開していく。また、深い学びができるように、洗濯機を使用して洗濯した際、洗濯物が縮んだ、汚れが落ちなかったという体験をもとに、どうすれば縮まないのか、汚れが落ちるにはどうしたらよいのか等を、考えることができるようにする。手洗いや洗濯機の使用など、体験的な学習を取り入れながら、実生活での活用がイメージできるようにする。

生徒が思考しやすいように、写真やイラスト、具体物等を活用する。

また、自信を持って取り組むことができるように、生徒が発言したことを肯定的に受け止めながら、学習を進めていく。

7 指導計画（本時5／9時間）

	実施日	学習内容	評価の観点		
			知	思	主
1	10月15日（水） ②	衣服の役割、季節や TPO に合わせた服装 色々な衣服を知ろう	○	○	
2	10月15日（水） ③	洗濯について知ろう① 洗濯の準備を知ろう 洗濯機で洗濯してみよう	○		○
3	10月15日（水） ④	洗濯 → 脱水 → 干す 洗剤の種類を知ろう 粉洗剤、液体洗剤	○		

4	10月20日(月) ④	洗濯について知ろう② 「どうして縮んでしまったのだろう」 → 洗濯表示を知ろう 洗濯できるものとできないもの	○		
5	10月22日(水) ② ★本時	洗濯について知ろう③ 「汚れを落とすにはどうしたらよいだろう」 → 部分手洗いをしよう 落ちやすい汚れと落ちにくい汚れ 水の温度、汚れの放置	○		
6	10月22日(水) ③	洗濯について知ろう④ 「形が崩れないようにするには」 → 洗濯ネットの使用 「タオルなどを気持ちよく使うには」 → 柔軟剤 漂白剤について	○		
7	10月29日(水) ②	汚れや洗濯表示をみて、洗濯しよう (今までのまとめ)	○		○
8	10月29日(水) ③		○		○
9	10月29日(水) ④	取り込み方、畳み方を知ろう コインランドリーについて	○	○	

7 本時について

(1) 全体の目標

- ・手順を理解して手洗いや部分洗いをしたり、汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解したりすることができる。

(2) 対象児童生徒の個別の実態と目標

	単元にかかわる実態	個別の目標	評価の観点		
			知	思	主
a	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、洗濯をした経験はない。 ・片麻痺があるため、実践的な学習では支援が必要である。 ・教師が質問したり、選択肢を与えたりすることで、考えを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解することができる。 	○		
b	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで洗濯をした経験はない。 ・体験的な学習には、興味を持って取り組む事ができる。 ・衣類の素材や洗濯機の種類など、気づいたことについて発言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解することができる。 	○		

c	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで洗濯をした経験はない。 ・疑問に思ったことや、気づいたことを自分から発言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解することができる。 	○		
d	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで洗濯をした経験はない。 ・手順を理解して取り組むことはできるが、原因や性質などに注目することは難しい。 ・教師がヒントを伝えたり、質問したりすることで、自分の考えを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を理解して手洗いをしたり、汚れに着目して部分洗いをしたりすることができる。 	○		
e	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で、自分のお気に入りの物を洗濯することがある。 ・洗濯機の使用法や知識はある。 ・自分の経験や知っていることを、積極的に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解することができる。 	○		

(3) 学習活動の展開

時間	学習活動	主な支援 (○) 留意点 (・) 評価の観点 (☆)
導入 5分	<p>1 はじめのあいさつ</p> <p>2 前回の学習の復習と、今日の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の当番が挨拶をする。 <p>○前回の学習で洗濯して干した洗濯物や、洗濯表示のカードを見せて、前回の学習を振り返る。</p> <p>○以前に自分達で洗濯機を使用して洗った洗濯物で、汚れが落ちなかった洗濯物を見せる。</p>
展開 40分	<p>3 手洗い、部分洗いをする。</p> <p>(1) どうすれば汚れが落ちたのかを予想する。</p> <p>(2) 手洗い、部分洗いについて知る。</p> <p>(3) 手洗い、部分洗いを実践する。</p> <p>(4) 友達が手洗いをしたり、部分洗いをしたりした物と比べる。</p> <p>(5) お湯や汚れをつけたものを、部分洗いする。</p>	<p>○今までの経験を聞いたり、具体物を見せながら問いかけたりする。</p> <p>○手順表を見せながら、教師が見本や手順を示す。</p> <p>○様々な汚れ（どろ、醤油、油性ペン、油汚れ等）を用意して、担当を決め、一人ひとつを手洗いをする。</p> <p>○教師が声をかけながら、友達のものとは比べられるようにする。</p> <p>○お湯で洗うグループと汚れをつけたものを洗うグループに分けて、部分洗いをを行う。</p> <p>○落ちなかったものと比較しながら、汚れが落ちるのを実感できるようにする。</p>

		<p>☆手順を理解して手洗いや部分洗いをすることができたか。</p> <p>☆汚れや水の温度、汚れの放置時間によって、落としやすさが違うことを理解することができたか。</p>
ま と め 5 分	<p>4 今日学習したことを振り返る。</p> <p>5 次回の学習について知る。</p> <p>6 あいさつ</p>	<p>○教師が問いかけながら、様々な意見が出るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物を見せながら、次は型崩れについて学習することを伝える。 ・その日の当番が挨拶をする。

(5) 場の設定

<手洗い時>

